



No. 72

昭和52年4月5日発行

福岡市西区西新6丁目

西南学院大学図書館

新入生諸君を迎えるにあたって

図書館長 木 村 毅

今年も千数百名の新入生を迎えましたので、一言ご挨拶申し上げます。諸君は漸く受験勉強から解放されて大学の門をくぐったわけですが、さてこれからどういうふうに勉強したらよいか、迷っていることでしょうか。こういう問題については、学部長・教養部長その他の先生方からいろいろ聞くことでしょうか、何といってもまず授業にまじめに出席して、科目担当者の注意をよく聞くことが大切です。そうして、そこで挙げられた参考書を図書館で探して読むのが一番よいと思います。そのために特に担当者の選んだ指定図書が2階に備えられています。なおまた、若い諸君は人生問題に悩むこともあるでしょうが、そういう問題の解決には、講義で得られる学問的な知識は、必ずしもすぐ役立つとは限りません。そのためにはチャペルの講話が大いに役立つかも知れません。また、図書館の立場からは、文学書をお勧めしたいと思います。図書館には内外の文学書が大量所蔵されています。これらの目的のために、本館では全蔵書約30万冊の内、約13万冊をオープンにして、諸君の利用しやすいようにしています。これらのオープン図書の内には随分古いものもあります。それに関して、いつかこんな投書がありました、「古い本はいらないから、処分した方がよい」と。(ついでながら、われわれは諸君の投書を大いに歓迎しています。図書館に対する希望、苦情その他何でも結構ですから、どしどし投書してください。)しかし、古い本は諸君の専門的研究のためにも教養のためにも、大変必要なのです。私は以前、ある大学の理工系学部の教授から、「自分たちは2・3年前の本はいらない、最新の文献——主として雑誌——を航空便で取り寄せ、1日1時間を争って読むのです」と聞きました。社会科学の場合にも、研究分野によっては、同様のことが言えるでしょう。しかし、社会科

学の場合には、一般に随分古いことを研究する必要があるのです。私はこの2・3年、ゼミナールで、「戦後日本の労働問題」を取り扱って来ましたが、この場合にも、明治期や大正・昭和戦前期を抜きにして戦後を論ずるわけにはいかないのです。ですから、明治初年の地租改正・殖産興業・秩禄処分・士族授産などから日本資本主義発達史にとって画期となった日清・日露戦争のこと、高野房太郎・片山潜らの労働組合期成会と鉄工組合・日本鉄道矯正会・活版工組合のこと、治安警察法と非戦論・社会主義の弾圧、日露戦争後の騒擾と幸徳秋水の大逆事件、女工哀史と工場法、更に大正期に入ると、鈴木文治の友愛会、第一次大戦中の争議の頻発、物価騰貴と米騒動、労働総同盟と川崎・三菱の大争議、戦後恐慌と失業問題、健康保険、共産党の胎動と治安維持法、普通選挙法、昭和に入ると、恐慌、不況、満州事変、日華事変、軍部独裁、社会政策の後退から停止へと、一々挙げれば切りのないほどですが、この程度のことは是非とも知っておかなければ戦後の労働問題は理解出来ません。これだけでも古い本の必要なことがわかることと思います。社会科学でなくて文学や思想の場合は、その性質上、それ以上に古典が必要でしょう。独自の経済学者であると同時にすぐれた思想家でもあったマルクスは、ギリシャ悲劇に深い関心を持ち、「ギリシャの芸術や叙事詩」が遠い年代の隔たりと社会的発展段階の相違を超えて、「われわれに対してなお芸術的なたのしみを与え」るのは、なぜだろうか、と問うています(『経済学批判序説』)。もっとも、それに対する彼自身の答え、「ギリシャ人は正常な子供であった、……」が、どこまで問題を正確にとらえているかは、なお深く反省されるべきでしょうけれども。

参考図書紹介 その⑤

全 国 書 誌 — 国内編 —

参 考 係

わが国の出版物の調査をする場合に利用するのが、国家的規模で資料を収集し、目録を編んでいる全国書誌と呼ばれるもので、代表的なものが、納本制度をとっている国立国会図書館の新規受入からつくるものである。しかし納本制以外からも極力その年度の資料を収集し、調査して目録をつくっている。ここではわが国の主要な全国書誌と呼ばれているものを紹介しますので、利用して下さい。調査する出版物の年代の古いものから記します。全て3階の参考図書室にあります。

(1) 古代から江戸までの出版物の調査

国書総目録 第1巻～8巻

これは「国書解題」の改訂版として企画されたもので、発刊までに25年を費やしている。全国の主要な公私立図書館、各大学附属図書館を中心に、各地の文庫から広く収集している。収録範囲は、国初から慶応3年までに日本人の著編撰訳した書籍に限っている。

(2) 明治時代の出版物の調査

1) 明治期刊行図書目録 国立国会図書館
第1巻～5巻、書名索引

この目録は、国立国会図書館の蔵書のうちから明治時代に刊行されたものを収録しており、海外で日本人が出版したのものも、国会に所蔵しているものは載せている。

2) 帝国図書館和漢図書書名目録

第1編(明元年)～3編(明44年)

(3) 大正元年から昭和10年までの出版物の調査

帝国図書館和漢図書書名目録

第4編(明45年)～5編(昭10年)

(4) 昭和11年から昭和24年までの出版物の調査

帝国図書館和漢図書書名目録

第6編(昭11年)～7編(昭24年)

(5) 戦後の出版物の調査

1) 出版年がわかっているとき

1. 出版年鑑 出版ニュース社

昭和26年(1951)～

「出版ニュース」(後述)の1年間の累積したもの。漢籍目録と雑誌目録に全体の半分をさいている。その年度に出版された市販図書がほぼ網羅的に収録されている。その他この本から得られる情報として、発行所、図書館、広告代理店、マスコミ関係の名簿も載っている。

2. 全日本出版物総目録 国立国会図書館

昭和23年(1948)～

「納本週報」(後述)に載った1年分の国立国会図書館に受入れた分の他、国内出版物は極力調査して収録してある。図書、新聞、雑誌その他各種の資料も集めており、最も包括的な出版目録である。官庁出版物も含まれているが、出版が3年程おくれるのが欠点である。

2) 出版年がわからないとき

1. 国立国会図書館蔵書目録

第1編(昭23年)～4編(昭33年)
書名索引

2. 国立国会図書館蔵書目録 和漢書の部

第1編(昭34年)～4編(昭43年)

(6) 最近の出版物の調査

「出版年鑑」、「全日本出版物総目録」等では、半年から3年ほど情報がおくれるので最近の出版情報をつかむには、

1) 出版ニュース (旬刊)

新刊書のみを旬刊で速報している。

これの1年間の累積版が「出版年鑑」となる。

2) 納本週報 (週刊)

国立国会図書館が受入れた資料を週刊で速報している。市販出版物以外に、官公庁の出版物、大学図書館等の出版物も含まれている。これの1年間の累積したものが「全日本出版物総目録」となる。

各係から利用者の皆様へ

<奉仕係>

図書館利用の方法

入館のときは、必ず学生証を携帯して下さい。

1) 学習室の利用(1階)

携帯品を所持したまま自習する部屋です。明るい雰囲気、174席もある広い部屋ですから、いつでも自由に入室してください。

2) 開架閲覧室の利用(2・3・4階)

2階の受付で学生証を提出し、カバン・コート類を、ロッカーに納めて入室してください。

3) 館外貸出(貸出)

まず始めに貸出のコーナーで学生証を提示して、貸出証の交付を受けてください。

- ・貸出冊数は平常は3冊以内。期間、11日以内。更新1回可。 休期中貸出は5冊以内。
- ・大学院学生は20冊2カ月以内です。更新1回可。
- ・卒業論文作成のためには特別貸出ができます。冊数は3冊以内、期間は1カ月以内です。
- ・期間内に返却されない場合は、1冊につき1日超過するごとに5円の延滞金を支払わなければならないので注意してください。

<受入係>

受入係では、51年度の受入が終了したばかりでヤレヤレといったところ。それにしても今年度の予算残高(繰り越し注文分を含む)は幾らなのだろうかと気になっています。このところ年々予算残額が増加して、せっかく図書費を増額してもらっても、年度内に手に入らないようではなんにもならない、という苦情を戴きそうです。当館では予算の繰り越しが認められているので年度末になって本を掻き集める弊害はありませんが、あまり繰り越し金が多くなって前年度予算を今年度に、今年度予算を来年度に、使用するような状態になってはと反省しています。

そこで本来ならば図書館がおこなうべき業務ですが、利用者のみなさまにご協力を戴ければと思います。

①継続図書(年鑑、白書、全集、雑誌のバックナンバー等々)の欠号発見

継続カードを使ってなるべく欠号しないように気を付けていますが、数が多い為、なかなか発見が難しく定期的に配本される場合はともかく、不規則のシリーズものは掴みにくい状態です。

②直接販売の図書の明記

取次店を通さず、直接販売している出版社の物。それらを知らずに書店に発注しても入手不可能として書店より戻ってきます。それから直接出版元へ再発注、第1回目の発注から相当の時間が経過して品切になっていた、出版元の住所が不明であったり、書店に行っただけで、なんの連絡もなく未納本になってしまったりします。

③古書店目録の活用

文献一覧などからの発注の場合。最近は一度品切になると、絶版になる場合が多く、古書で捜してもらっても、書店も人手不足のため発注票の戻りが多いのが現状です。

学生のみなさんも購入希望の図書があれば、学習室前のカウンターに投書箱があり所定の用紙も置いてありますので、それに記入して提出することができます。その際、当館に在庫の有無を確かめ、書名、著者名、発行所名、金額を正確に記入してください。

少しでも発注の無駄をなくして、依頼された図書を速かに発注し、迅速、かつ欠本することなく受入れることが出来るよう努力したいと思います。

<整理係>

整理係は受入れられた図書館資料を一定のルールに従って保管管理のために支障のないよう、必要なときはいつでもそれらの資料を自由に利用できる状態にしておくために、現在9名の職員がいます。毎日が資料(広義)相手の仕事なので、直接利用者に接する機会が少なく独善的になりやすいので、いつも客観的に考えるよう、奉仕への準備作業であることを忘れないようにしています。そのためには再整理の必要もおこってきます。一度整理し配架していた図書でも、分類やカード等が適切でなかったり、整理方法の部分的変更等の場合があります。

係では購入希望、注文等でお急ぎの図書はなるべく早く処理するようにしていますが、ときにおくれることもありますので、その際は催促してください。受入れられていれば特別な事情のない限りただちに整理いたします。先生方には特研図書等は、整理済伝票をお返ししていますので、早目にとりにいらっやってください。1カ月すぎますと該当箇所配架します。

<参考係>

最近、図書館間の相互協力が積極的に行なわれるようになり、本館にない資料も他館から容易にコピーを取寄せることができるようになりました。それである本学の教員から、「今では資料が手に入らないから研究できない、というのには理由にならない」ということを聞いたことがあります。国内にない資料も国外から取寄せます。とにかく必要な資料が見つからない場合は、係へおこし下さい。本館にない場合は、所蔵機関を調べてコピーを取寄せます。勿論費用は利用者負担です。また現物の貸借もできます。(国立国会図書館で5冊、1カ月以内)

その他所蔵調査、論文作成のための参考図書利用指導、各種文献目録作成等を主な業務としています。

ゼミ等であるテーマに関する資料にはどんなものがあるかを調査する場合等お手伝いしますので相談して下さい。

〈資料係〉

資料係は5階にあり、購入和・洋雑誌、各大学の論集・紀要、およびさまざまな研究機関よりの研究資料・統計資料や、機関紙等の寄贈資料を有効整理し、研究者に資することの業務を行っています。従って大学図書館においては、その研究的性格上から、もっとも重要な係の一つであり、各大学においても最近とみにその充実がはかられている分野であります。

有効利用の方策として、その在庫リストのコンピューター入力により必要に応じたリストアップが可能になったことや、各大学よりの新着論集・紀要の目次 (Contents) をコピーし、学術研究所休憩室に各研究分野毎にファイルして並べ、できるだけ早く、その資料を提供する配慮 (Contents Sheet Service) を行っているのも、その小さな一つの表われです。

また、雑誌・資料にはさまざまな分野の資料等が一冊に、同時に収録されている場合も多く、従来一人の研究者によって借出された場合、その間、他の研究者に不便をかけていましたが、近い将来はその貸出しを廃止し、必要部分はコピーによるものとし、2階事務室のコピー機械の他に、特に教授等、および大学院生に対しては、資料係横にコピー機械 (セルフサービス) を設置 (予定) し、必要部分を即座にコピーすることもできるようにするなど、その内容およびシステムの充実をはかっています。

☆ ニュース・お知らせ ☆

〈図書館利用規則一部改正〉

◎大学専任教員・名誉教授については、近い将来、新聞は未製本・製本済みともに禁帯 (貸出禁止) とし、雑誌についても未製本は禁帯とする。ただし、製本済み (仮製本を含む。) については、下記のとおり帯出可。

- ・当該年度および過去3年度以前のもの。又は角綴じのもの。
- ・1人2冊以内、1カ月以内。(更新なし)

★特別帯出許可

1. 教材など作成のため、直接写真撮影の必要がある場合。
2. 新聞・雑誌、未製本・製本済みを含む。
3. 必要最低冊数、最短期間 (要許可)

◎その他の教職員および学生については新聞・雑誌、未製本・製本済みとも禁帯とする。

〈図書館委員会〉 52. 3. 10 (木)

報告事項

- ・院生利用規則改正案の一部修正および部長会議の希望意見について。
- ・元専任教員の処遇について。
- ・国連寄託図書館の半日開館について。
- ・館内模様がえの作業状況について。
- ・卒論の取扱い方法について。

議題

- ・教職員利用規則の一部改正の件。
- ・52年度一般図書費配分方法の件。

〈奉仕係より〉

新入生の皆様、入学おめでとございます。勉強、勉

強にあけくれた時も遠くすぎ、ほっとした日々を味わっていらっしやることと思います。いままでとは違った学生生活のサイクルに、ぜひ、「図書館に寄る」ことを、加えて下さい。図書館イコール、ガリ勉と考えるのはもう古い。図書館には専門書だけではなく、あらゆる分野の図書をそろえて、皆様のご利用に備えております。週刊誌やファッション雑誌を見に来るのも、また、良いではありませんか。(Y・F)

告知板

○春休長期貸出実施中

冊数は 学部学生 5冊

別科生 10冊

期限は 4月22日 (金)

○開館時間

・4月9日 (土) まで 9:00~17:00.

(土曜日は12:00まで)

・4月11日 (月) より 平常開館

学習室 8:45~19:00

開架閲覧室 9:00~18:00

○休館日

・5月11日 (水) 創立記念日のため。

文献複写

本館では複写機を備え、教職員や学生の研究用の文献複写を行なっています。論文作成、研究発表、試験その他研究に必要なものであれば、本館の図書、雑誌その他の資料の複写サービスを受けることができます。(ノート類は受け付けていません)

文献複写料金

サイズ	RICOH PPC900	ゼロックス	マイクロフィルムからの引伸
B4	20円	30円	B4 40円
A4			A4 30円
B5	15円		B5 20円
A5			

〈あとがき〉

編集担当者がかかりましたので、なにかと不十分な点が多々あると思いますが、今後は皆様の期待に添えるように努力していきたいと思っております。(I.A.)